

議会だより



トロッコわっしー号

第3セクターで運営される、わたらせ渓谷鐵道^{てつ}のトロッコ列車「トロッコわっしー号」は2012年4月1日にデビューしました。窓ガラスのないオープンタイプの列車で、わ鐵名物の「やまと豚弁当」などをいただきながら、渓谷の景色を楽しめます。ゆるキャラ「わっしー君」は安全パトロール隊長として各種イベントでも大活躍。今年の6、7月には、女性アテンダントの業務体験ができる企画も行われ、NHKのニュースでも取り上げられました。

平成25年第2回定例会(6月)

〈主な内容〉

議会構成	2～5
審議された議案	6～7
常任委員会報告	8～9
基本・倫理条例策定等特別委員会報告	10～11
一般質問	12～19
まちの声	20

みどり市議会構成決まる

就任あいさつ

議長
古田島和茂



副議長
椎名 祐司



平成25年5月臨時会におきまして、議長を務めさせていただきましたことになりました。あらためて責務の重さを痛感するところであります。

微力な私ではありますが、微力を微力とせず、公平で公正な議会運営に務めていく決意であります。

近年、地方分権の推進により議会の果たす役割も一層重要なものとなっております。

5月の臨時議会において再度副議長の職を担うことになりました。

みどり市議会では、6月1日より「議会基本条例」「議会議員政治倫理条例」が施行され、さらなる議会の活性化と開かれた議会への取り組みが重要となっております。

市民の皆さまにとってより良い市政実現のために、議員同士でもさまざまな角

本市議会では議会基本条例、議会議員政治倫理条例を制定し、真に市民の皆さまに信頼される開かれた議会として、議会のさらなる活性化を図る所存です。

さて、市行政をとりまく状況は決して順調・樂觀で見る状況ではなく、山積する諸問題に対し、市長との二元代表制の一翼を担う議会として積極的に対応するとともに、市民福祉の向上

度から意見を出し合い、合意形成を図りながら活発な議会を築いていきたいと考えています。

同時に、議会制民主主義に基づき二元代表制の一翼を担う議会として、一定の緊張感を持ち、是々非々の立場で、チェック・アンド・バランスを堅持していきたいと思っています。

今後市民の皆さまの意見を真摯に受け止め、謙虚

と安全・安心なまちづくりに向け鋭意努力し、責務を遂行してまいります。

市民の皆さまには日ごろより議会に対しましてご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。今後とも皆さまのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

に耳を傾けながら、市民福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指していくために、これまで以上に取り組んでいきたいと考えています。

市民の皆さまから負託を受けた議会としての使命と責任を果たしながら、不断の努力と研鑽を行なっていきたいと思っておりますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

総務文教常任委員会

所 管 総務部、教育委員会、会計局
等の所管に関する事項

委員長 宮崎 武
副委員長 齊藤 潤
委員 藤生 英喜 古田島和茂
金子 實 武井 俊一

(委員定数7人)



市民福祉常任委員会

所 管 市民部、保健福祉部の所管に
関する事項

委員長 常見 詔子
副委員長 須永 信雄
委員 上岡 克己 田部井多市
高草木良江 大澤 映男

(委員定数7人)



経済建設常任委員会

所 管 産業観光部、都市建設部、競
艇事業局、農業委員会の所管
に関する事項

委員長 阿左美 守
副委員長 須藤 健久
委員 伊藤 正雄 荻野 忠
椎名 祐司 杉山 英行

(委員定数6人)



議会運営委員会

所 管

円滑な議会の運営を期すため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る。

委員長 上岡 克己
副委員長 田部井多市

委員 藤生 英喜 阿左美 守
宮崎 武 武井 俊一
齊藤 潤（委員定数7人）



議会広報特別委員会

所 管

議会の審議・運営活動等の状況を広く住民に公開するため、議会だよりの発行を行う。

委員長 武井 俊一
副委員長 齊藤 潤

委員 常見 詔子 椎名 祐司
宮崎 武 大澤 映男
須藤 健久 須永 信雄（委員定数8人）



傍聴をお待ちしています

議会では市のさまざまな計画や市民の生活に直面したことなどが議論されています。

本会議は、どなたでもご覧いただけますので、ぜひ傍聴にお越しください。

問い合わせ先 **みどり市議会事務局** ☎76-1970



会議録を公開しています

市議会の会議録を公開しています。市のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.city.midori.gunma.jp/section/08gikai/>



市議会選出の各種機関や団体の委員

名 称	氏 名
監 査 委 員	藤生 英喜
農 業 委 員	田部井多市 高草木良江
桐生地域医療組合議会議員	高草木良江 宮崎 武 須永 信雄 齊藤 潤
群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員	古田島和茂
民生委員推薦会委員	常見 詔子 大澤 映男
都市計画審議会委員	田部井多市 伊藤 正雄 杉山 英行 武井 俊一
青少年問題協議会委員	上岡 克己 金子 實
国保運営協議会委員	田部井多市 藤生 英喜 常見 詔子 荻野 忠 高草木良江
社会福祉協議会	理 事 大澤 映男 評議員 上岡 克己
障害者福祉センター運営委員	須永 信雄

会 派 名 簿

会 派 名	氏 名
広 和 ク ラ ブ(6名)	◎藤生 英喜 大澤 映男 武井 俊一 上岡 克己 金子 實 須藤 健久
市 政 ク ラ ブ(5名)	◎田部井多市 阿左美 守 荻野 忠 椎名 祐司 須永 信雄
公 明 ク ラ ブ(2名)	◎宮崎 武 高草木良江
みどりクラブ(2名)	◎伊藤 正雄 齊藤 潤
日 本 共 産 党(1名)	◎常見 詔子

会派所属議員氏名の記載順は会派届に添付された名簿の記載順 ◎：代表者

職員給与の削減が可決され 人事案件も同意されました

平成25年第2回定例会は、6月6日から6月26日までの21日間にわたり開催されました。

人権擁護委員をはじめとする人事案件、市長提出議案、一般会計補正予算など21議案が提出され、すべての議案が原案のとおり可決されました。また、追加議案により、平成25年7月から平成26年3月までの職員給与の削減案が上程され、慎重審議の結果、可決されました。

報告案件

- ◆平成24年度一般会計予算継続費繰越計算書
- ◆同 一般会計予算繰越明許費繰越計算書
- ◆同 下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書
- ◆同 企業用地整備事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書
- ◆市長提出議案
附属機関設置条例の一部改正

- ◆(人・農地プラン検討委員会を附属機関に加えるもの)
- ◆報酬費用弁償支給条例の一部改正
(人・農地プラン検討委員会の報酬費用弁償支給を定めるもの)
- ◆暴力団排除条例の一部改正
(暴力団対策法に整合させるための条文の変更)
- ◆過疎地域自立促進計画の変更
(過疎地域自立促進特別措置法に基づき計画を変更するもの)

- ◆道路占用料徴収条例の一部改正
(令第7条2号に掲げる工作物を加えるもの)
- ◆みどり市営住宅設置条例の一部改正
(平成18年条例第170号の一部を改正するもの)
- ◆みどり市立学校給食センター設置条例の一部改正
(平成18年条例第93号の一部を改正するもの)
- ◆調停の成立
(平成24年(ノ)第29号)

損害賠償等請求調停事件)

- ◆市道の路線廃止(1路線)
- ◆市道の路線認定(4路線)
- ◆特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の臨時特例に関する条例

(平成25年7月から平成26年3月31日までの間給与を減額するもの)

- ◆和解について
(柵および立て札の撤去など)

補正予算

- ◆平成25年度一般会計補正予算
- ◆同 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算
- ◆同 国民健康保険(診療所勘定)特別会計補正予算
- ◆同 介護保険(保険事業算)

人事案件

- ◆勘定)特別会計補正予算
同 簡易水道事業特別会計補正予算
- ◆同 下水道事業特別会計補正予算
- ◆同 富弘美術館事業特別会計補正予算
- ◆同 競艇事業特別会計補正予算
- ◆同 水道事業会計補正予算
- ◆任期の満了に伴い、次の通り、人事案件について同意した。
- ◆人権擁護委員
湯浅 淳子氏(大間々町)
- ◆公平委員会委員
家住美哉應氏(笠懸町)
- ◆監査委員
藤生 英喜氏(笠懸町)
- ◆教育委員会委員
金子祐次郎氏(東町)

第1回臨時会

平成25年5月13日開催。
1日の日程で報告1件、承認4件が上程されました。
◆平成24年度水道事業会計予算繰越計算書の報告

（市道等の配水管の更新に同調している工事の工期延長により平成25年に繰り越すもの）
◆専決処分した事件（条例の一部を改正する条例）の承認

（地方税法の一部を改正する法律等が、3月30日に公布されたことに伴い、条例の一部を改正したもの）
◆専決処分した事件（国民健康保険税条例の一部を

改正する条例）の承認
（地方税法の一部を改正する法律などが、3月30日に公布されたことに伴い、条例の一部を改正したもの）
◆専決処分した事件

（平成24年度一般会計補正予算（第8号））の承認
◆専決処分した事件（平成24年度企業用地整備事業特別会計補正予算（第2号））の承認

6月補正予算の状況

一般会計		補正額	1797万5千円
		補正後の額	180億6797万5千円
特別会計	国民健康保険 （事業勘定）	補正額	286万4千円
		補正後の額	60億9186万5千円
	介護保険 （保険事業勘定）	補正額	▲70万6千円
		補正後の額	37億3885万6千円
	簡易水道事業	補正額	3万0千円
		補正後の額	6301万9千円
	下水道事業	補正額	▲43万1千円
		補正後の額	9億2624万0千円
	富弘美術館事業	補正額	66万5千円
		補正後の額	3億1962万1千円
事業会計	水道事業会計	補正額	614万5千円
		補正後の額	9億6827万7千円

次回定例会(予定)

9月4日(水)
午前9時30分から

皆さんの傍聴を
お待ちしております。

問い合わせ

☎76-1970

総務文教 常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと
6月19日に開催した。

付託された議案

●附属機関設置条例の一部改正

市が作成する人・農地プランの
審査および検討を行うための附属
機関を設置する。

討論もなく、挙手による採決の
結果、賛成全員により原案のお
り可決すべきものと決定。

●報酬費用弁償支給条例の一部改

正

人・農地プラン検討委員会がみ
どり市の附属機関に位置づけられ
たことに伴い、その委員の報酬日
額を定めるもの。

討論もなく、挙手による採決の
結果、賛成全員により原案のお
り可決すべきものと決定。

●暴力団排除条例の一部改正

暴力団排除条例の中に、国の暴
力団排除の法律の条文を引用して
いる部分があり、国の法律が改正
されたことに伴うことの改正。

討論もなく、挙手による採決の
結果、賛成全員により原案のお

り可決すべきものと決定。

●過疎地域自立促進計画の変更

過疎地域の自立促進計画、5つ
の新たな事業の追加。

討論もなく、挙手による採決の
結果、賛成全員により原案のお
り可決すべきものと決定。

●みどり市立学校給食センター設 置条例の一部改正

大間々学校給食センターが新た
に移転改築し、住所変更となるた
め一部文言整理も併せて条例の一
部改正。

討論もなく、挙手による採決の
結果、賛成全員により原案のお
り可決すべきものと決定。



大間々学校給食センター

市民福祉 常任委員会

本委員会は、付託議案がないた
め、執行部出席のもと6月17日に
常任委員会協議会として開催した。

協議および報告事項

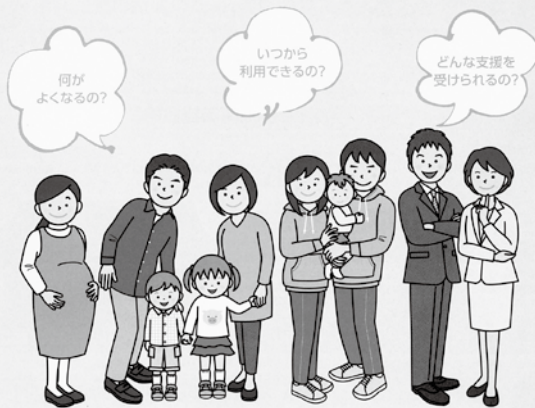
●子ども・子育て支援新制度

協議事項として、平成25年10月
設置予定の「子ども子育て会議」
についての説明があり、市が子ど
も・子育て支援事業計画の策定に
あたり同会議の意見を聞かなけれ

ばならないなどの説明があり、委
員からは新制度移行に伴う相違点
についてなどの質疑があった。執
行部からは保護者アンケートによ
るニーズ調査をし、その結果に基
づき事業計画を策定するなどの内
容説明があった。

報告事項では①かたくりの湯入
場者200万人達成について、②
第2期みどり市地域福祉計画の策
定について、③第63回みどり市社
会を明るくする運動について、④
複合型サービス事業整備事業者の
公募状況について、⑤地域包括支
援センター委託スケジュールにつ
いてなど報告された。

おしえて！ 子ども・子育て 支援新制度



「子ども・子育て支援新制度」とは、平成24年8月に成立した「子ども・子育て支援法」、「認定こども園法の一部改正法」、
「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の
子ども・子育て関連3法に基づく制度のことをいいます。

内閣府・文部科学省・厚生労働省

経済建設 常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと
6月18日に開催した。

付託された議案

●市道路占用料徴収条例の一部改正

上位法である道路の構造または交通に支障を及ぼすおそれのある工作物などという項目の中に、太陽光発電設備および風力発電設備が加えられ、占用面積1㎡当たり年額1000円を加えるもの。

討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

●みどり市営住宅設置条例の一部改正

毎年実施している老朽化住宅の解体工事に伴い戸数の一部を変更するもの。

討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

●調停の成立

第29号損害賠償等請求調停事件。国土調査事業において境界が未定の個所につき地権者から調停を申

し立てたもの。質疑では和解内容に基づいて両者が和解した場合、裁判所として、この事件が終わると解釈してよいか。合意内容については、書面で裁判所から送られてくる。

討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

●市道の路線廃止

市道大間々3243号線は、道路改良事業に伴い線形の変更が生じることから、一度、確認を廃止し、2路線に分けて再認定するもの。

討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

●市道の路線認定

市道笠懸2307号線、市道笠



市道大間々3468号線

懸2308号線は土地開発に伴う新設道路の寄附受け入れのため認定する。市道大間々3468号線、市道大間々3469号線は、道路改良事業に伴い線形の変更で、既存路線を一度廃止し、2路線に分けて再認定するもの。質疑では、

一部クランクになっている北東角は拡張できるが、今後も用地交渉を進め全面開通するよう努力していく。

討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

お詫びと訂正

平成25年5月号「まちの声」大間々町高田ティ子さんの本文中に

「現在、全国に中継される元旦恒例の実業団駅伝では、桐生市役所でタスキをつないでいる。そこで、タスキの受け渡しを笠懸町鹿信号あたりでできるようにならないだろうか。」と、紙面には掲載されていたいただきましたが、ご本人からの原文は、桐生市役所と笠懸鹿信号の間に西久保とありました。

ご本人のこの部分をご紹介しますと、「全国に中継される元旦恒例の実業団駅伝で、現在、桐生市役所でタスキを受けた選手は西久保で次の走者に渡しているが、それを笠懸鹿でタスキ渡しが出来るようにならないだろうか。」とありました。

後段の部分にはご本人のみどり市を全国に発信したいの思いも載せさせていただきました。そのうえで、文章など精査し「まちの声」として掲載いたしました。

ましたが、ご本人から頂きました原文とニュアンスの違いが出てしまったことにつきましてお詫びと訂正をさせていただきます。

「みどり市議会だより」は、日々研鑽（けんけん）を続ける中、句読点の打ち方、名詞や接続詞などに配慮し、一般質問やまちの声などの原文を校正する中、機関誌としてのルールや文章の正確性などに努め、より見やすく公平公正感に欠けることの無い紙面を目指して努力をしております。特に、議会だよりにおけるまちの声などに代表される市民の皆さまから頂く声を大切にしながら校正に努めております。

今回の訂正を契機により充実した紙面をさらに心がけ、市民の皆さまにご愛読いただける紙面を目指しながら不断の努力を続けてまいりますので、今後ともご愛顧いただきますよう議会広報特別委員会委員全員が心よりお願いを申し上げます。

基本・倫理条例策定等特別委員会

平成25年3月議会にて、全会一致で制定された「議会基本条例・議会議員政治倫理条例」が、平成25年6月1日より施行されました。みどり市議会議員としての資質向上と、倫理重視などのために制定された条例です。

3月制定以降、6月1日までの間においても、両条例に対して分科会ごとに多くの議論を重ね、より「重厚で市民からの信頼を深

く」を念頭に協議を重ねてまいりました。

開かれたみどり市議会、公平公正で透明な議会運営の推進、適切な行政監視および評価体制の確立、市民本位の政策立案および提言、議会力および議員力の強化充実、継続的かつ倫理重視の議会改革の推進などを軸としたみどり市議会基本条例・議会議員政治倫理条例を広く市民にご理解いただくため、今後の活動としては、議会報告会などを中心に行ってまいります。

また、群馬県内12市議会を通じてみどり市議会の条例制定は、初めての試みとなります。

先進地としてのポリシーを高く持ち、条例に沿った運営が重要となります。

市民の皆さまにも是非ともご理解とご協力をお願いいたします。

今後の委員会活動として以下の内容などを中心にさらなる議論を深め推進し、さらなる、みどり市議会基本条例・議会議員政治倫理条例の推進をしてまいりますので、ご期待ください。

基本条例分科会

- ① 議会報告会の推進
- ② 本会議放映のため、放送用機器設置推進
- ③ 委員会公開の推進
- ④ ペーパーレスのためのタブレットの導入
- ⑤ 先進地としての所管事務調査の受け入れなど



市民説明会

寄附行為の禁止

選挙の有無にかかわらず、議員が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。

有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。



倫理条例分科会

- ① 寄附行為などの議員および市民周知の推進
- ② 政治倫理基準の議員への徹底および市民周知の推進
- ③ 議員の税等納付状況報告書の提出の推進
- ④ 先進地としての所管事務調査の受け入れなど

5月の改選において委員会の役員の変更がありました。

基本・倫理条例策定等特別委員会

委員長 宮崎 武 副委員長 荻野 忠

(議長を除く 17 名)

基本条例分科会



分科会長
宮崎 武



副分科会長
上岡 克己



田部井多市



藤生 英喜



金子 實



杉山 英行



武井 俊一



須永 信雄



齊藤 潤

倫理条例分科会



分科会長
荻野 忠



副分科会長
伊藤 正雄



常見 詔子



阿左美 守



椎名 祐司



高草木 良江



大澤 映男



須藤 健久

Q ふるさとキラキラフェスティバルの実施は

A 市制10周年として取り組みたい

椎名 祐司 議員



都市建設部長 都市計画道路の線形が北側の住宅地に該当するため計画変更の手続きが生じてくる。今後、

桐生土木事務所とも相談して進めたい。

問 大間々諸町交差点の改良工事の考えは。

都市建設部長 2013年

問 国道122号「大間々町6丁目中」の交差点から一方通行を通り、弁当店までの市道大間々4036号線の整備状況は。

都市建設部長 この路線は平成24年度から平成29年度の6年間をかけて工事を完成させていく予定となっている。昨年11月8日には大間々第6区公民館で関係者への説明会を実施した。

問 「大間々町6丁目」の交差点は、空地、空家が増えている。周辺地域の地権者の理解が得られれば交差点の改良工事や拡幅工事が進められるのでは。

市長 駅や学校周辺での防犯カメラ設置は効果がある。新たなシステムや機能をもった防犯カメラも出てお

り、世の中の流れからすれば当然、設置の方向で考えていきたい。

問 群馬県では、花と緑のぐんまづくり推進事業の中で「ふるさとキラキラフェスティバル」を12市および

中之条町の持ち回りで毎年

開催しているが、実施していく考えは。

市長 平成28年度は市制10周年にあたり、周年イベントの一つとして取り入れ、

採択されるよう取り組みたい。採択後は、官民一体となったプロジェクトチームを立ち上げ、市内が花で埋め尽くされるような展開をしていきたい。



大間々町6丁目

Q 初めから建設ありきのようだ

A 要望や意見を聞き、進めている

荻野 忠 議員



れば、通学区の変更で対処すべきでは。初めから建設ありきのようだ。

教育長 建設のための4学校区案を説明し、市民から要望や意見を聞き、進めている途中だ。

問 国も地方も厳しい財政状況下では、堅実な行財政運営が求められている。優先すべき事業は多い。建設を強行すれば、将来、財政危機に陥るのでは。子ども

の減少傾向から判断しても、小学校の配置構成に不安を感じないのか。

教育長 より良い教育環境を子どもたちに与えたい。

問 群馬県の人口は、2040年に40万人近く減少と推計され、0歳から14歳の人口をみても、ピーク時から見れば3分の1以下になる。30億円以上の税金を投入して学校建設をすること

問 笠懸小学校の周辺に位置する小学校は児童数の減少が続く。空き教室が増加している。この実態を考え

に疑問はないのか。市内の



宮崎 武 議員

Q 特定健診や、新みどり検診にもポイントカード制を A 提案を検討し受診者向上に努めたい

問 みどり市として春秋の道路愛護に統一感のある推進ができないか。

都市建設部長 地域性もある。現在は行政区に一任している現状だ。

問 行政区や組合でも取り組み方が違っている。道路愛護という建前がある。崖

の樹木伐採や市道、県道、国道もある。危険個所の作業だけがながあつてはならない。行政が内容の詳細を明示し、ボランティアを進んで行えるような対策も重要では。

都市建設部長 再度、さまざまな観点から検討を加え

問 雨水排水対策のため、道路側溝の土砂やごみの堆積具合をどのように確認をしているか。

都市建設部長 道路愛護の際に、道路側溝の確認も依頼している。グレーチングの部分から堆積具合が確認できる。除去作業が大変な場合、市で対応する。

問 道路側溝も異物が堆積しては、雨水排水対策の根本から問題だ。市民にも気が付いた時点で連絡がもらえるような体制づくりができないか。

都市建設部長 道路愛護とも連携する部分なので検討する。

問 市道1298号線の整備だが、完成はいつか。

都市建設部長 平成24年度から平成26年度の3年間で完成予定。

問 南側のガードレール設置の件はどのような進行状況か確認したい。

都市建設部長 T字路からA地点まで設置した。順次進めていく。

問 見通しが良く直線だけ

0歳から12歳までの人口構成の資料を見て、いかに思ふか。

教育長 笠懸町では、横ばい状態だ。

問 今後の検討作業と、市民への結果報告は。

教育長 まだ考えていない。

問 教育委員会だけの決断は危険だと感じる。人口減、少子化、財政状況、また新都市建設構想など総合的に判断できる新しい検討組織を作るべきでは。

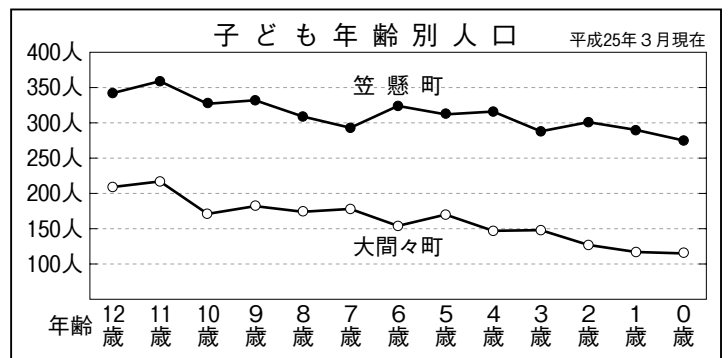
教育部長 今までの検討委員会に報告、新たな検討組織を作るかは未定だ。

問 開校計画は。

教育部長 土地購入など順調にいけば、5年か6年後に。

問 6年後、10年後になると、さらに児童減少になり、次はこの小学校を廃校したらよいのか、悩むことになるだろう。教育行政トップとしての考えは。

教育長 子どもたちを教育する上で、適正な規模、適正な教育環境を求めている。小規模校については統廃合するなど、ひとつひとつの課題をクリアしていきたい。



たい。

問 雨水排水対策のため、道路側溝の土砂やごみの堆積具合をどのように確認をしているか。

都市建設部長 道路愛護の際に、道路側溝の確認も依頼している。グレーチングの部分から堆積具合が確認できる。除去作業が大変な場合、市で対応する。

問 道路側溝も異物が堆積しては、雨水排水対策の根本から問題だ。市民にも気が付いた時点で連絡がもらえるような体制づくりができないか。

都市建設部長 道路愛護とも連携する部分なので検討する。

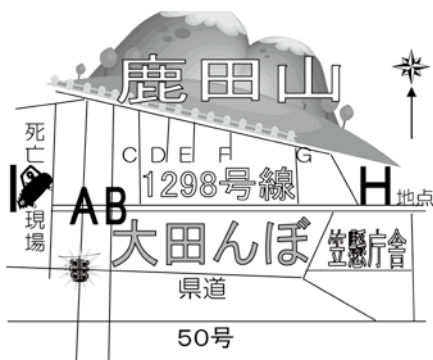
問 市道1298号線の整備だが、完成はいつか。

都市建設部長 平成24年度から平成26年度の3年間で完成予定。

問 南側のガードレール設置の件はどのような進行状況か確認したい。

都市建設部長 T字路からA地点まで設置した。順次進めていく。

問 見通しが良く直線だけ



Q ごみ減量化の現状は

A 市民の協力を促進していく

上岡 克己 議員



保健福祉部長 給与や退職

問 増加する生活保護受給者の審査方法をどのように行っているか。

保健福祉部長 相談者の申請意志を尊重しながら、受給にあたっては、本人の生活歴や保護申請にいたった事情をはじめ、預貯金、生命保険加入状況、親族への扶養照会、不動産や動産資産の有無、病状、年金、各種手当などの受給調査の上、受給用件の有無を審査している。

問 群馬県では、生活保護の不正受給が右肩上がりが続いている。みどり市の防止対策は。

金など別に得た収入を故意に使ってしまった例が2件あり、毎年返済をしてもらっている。防止策として、金融機関や生命保険会社の協力により、資産調査を行った。生活状況の変化があった場合は、ケースワーカーによる調査を行っている。暴力団排除条例への取り組みは暴力団排除条例の施行により、警察と連絡がスムーズに行われるようになり、暴力団排除に効果的と考えている。

問 増加する高齢者、障がい者、母子家庭を除く、働き盛り世帯への受給が急激に増えているが、その対策は。

保健福祉部長 現在1名の相談員を配置し、就労可能者に対し、ケースワーカーとともに、就労意欲を喚起したり、社会参加意識の向上にむけて再就職への支援

を行っている。

問 平成24年第1回定例会で、ごみ減量化の現状に対するの質問に、ごみ減量化やリサイクル率の向上に向けて、努力していかねばならないと答弁しているが、その後の進捗よく状況

Q 職員のモチベーション向上を

A 減点主義から褒める制度へ

齊藤 潤 議員



問 うつ病などの精神的な病気による休暇取得者、退職者、不祥事による懲戒処分者の数の累計は。

副市長 平成18年度からの累計は、休職者28名。そのうち退職者は4名。懲戒処分者は16名だ。非常に重く受け止めている。

教育部長 教職員の休職者は7名だ。

問 職員のモチベーションを高めるための取り組みの中で、課題は何か。

副市長 風通しのいい組織づくりだ。

教育部長 教員の指導力と

は。市長 過日の一般質問での答えの思いは変わっていない。今日からもそういたい。思いで取り組んでいく。ごみ排出量の削減を推進すること。生ごみの処理機補助金のお一層の推進を図る思いから、平成25年度より補助対象品目にコンポストを加え、市民の協力を促進していくとともに、分別回収の徹底と奨励金の交付制



コンポスト

度の周知を図り、リサイクル率の向上に向けて、努力していく。

資質の向上や子どもたちと向き合う時間の確保だ。

問 理想通りにいかない原因は何か。

副市長 職場の人間関係によりストレスを溜めている職員もいる。入職2年目の職員については、少しでも解消できたらと、今年も市長と共にランチミーティングを行った。

教育部長 教員の業務が多忙な中、個人の努力に大き



武井 俊一 議員

Q 阿左美駅周辺の整備は A 平成28年度以降、整備工事に着手する

問 県道桐生伊勢崎線阿左美バイパスの第2期工区の整備予定。また、阿左美駅から伊勢崎方面への整備計画は。

都市建設部長 国道50号から阿左美駅手前までの第2期工区の完成は、平成28年度を予定している。東武鉄

道阿左美駅から西側になる第3期工区は、県土整備プランであり、今後調査に入る予定と桐生土木事務所から聞いている。

問 阿左美バイパス第2期工区の道路雨水排水計画は。

都市建設部長 道路ができると雨水の流出は早くなる。

問 阿左美駅周辺の整備はどのように進めるのか。

副市長 平成25年度に、群馬県のスーパードラッグ整備事業補助金を活用し、基本計画を策定。平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計、平成28年度以降、整



く依存してきたことだ。

問 職員のモチベーション向上のために取り組んできたことは。

副市長 昨年度、職員表彰制度を見直し、減点主義から褒める制度に改正した。やる気に繋がればと思う。

問 今後の課題は何か。

副市長 日常業務対応の実例を題材にした「ケース検討方式」の研修や、テーマを与えて自ら考える「提案型」の研修など。

教育部長 組織として研修や環境づくりに取り組む。

問 職員のモチベーション

向上のために、各職員の思いを大切にしたい。「キャリアプラン制度」を導入してはどうか。

副市長 個人が目標を持ち、その実現に向けて実行することは大切。人事担当も一緒に考え、若手だけでなく中堅職員も含め、人事に生かしていきたい。

問 各職員が業務改善案を提案する「一職員一改善提案制度」を導入してはどうか。

副市長 個人の能力が生かされ、褒めることに繋がるので、十分検討していきたい。



い。職員表彰規定を見直したことで、創意工夫を凝らした取り組みに対して、積極的に褒める機会を設けた。職員からの提案が増えることを期待している。

短時間で雨水が集中するので、桐生土木事務所とは、排水の対応について今後も協議をしていきたい。

問 県道桐生伊勢崎線3期工区整備が視野に入ってきた。阿左美駅周辺の課題は。

副市長 大きく3点挙げられる。まず、通勤通学の送り迎えや桐生大学通学バスの一時停車、待機所の確保など交通安全対策。2点目として、県道桐生伊勢崎線と東武線を横断している地下道は、出水時に危険であり、排水問題も大きな課題であると認識している。3点目は、阿左美沼入口交差点から桐生市寄りの踏切が、県道に接続するが、幅員が狭いため渋滞が発生しやすい箇所になっており、この交通渋滞解消も課題と認識している。

問 阿左美駅周辺の整備について市長の考え方や取り組みへの決意は。

市長 桐生広域を考えたとき重要な拠点と考えている。誰が見ても、ここが拠点だと分かるような整備をしたと考えている。

備工事に着手する予定である。整備計画の企画段階から、事業推進段階で必要に応じ、市民の意見を聞く機会を設けていきたいと考えている。

Q 都市計画路線の見直しの考えは

A 次期マスタープランの中で柔軟に対応する

杉山 英行 議員



問 着手した路線と今後着手する計画は。

都市建設部長 事業化は3路線で、笠懸桐生大橋幹線、前橋笠懸道路、笠懸西部幹線である。未着手は6路線で、大間々町4路線、笠懸町2路線である。

問 路線ごとの事業概要で、車線数の未決定の理由は。

都市建設部長 車線数は、平成10年11月の政省令改正で車線数を定めることが義務付けられた。それ以前は、道路幅員の表示で車線数は決定用件ではなかった。

問 都市計画路線の見直しをする考えはあるのか。

都市建設部長 都市計画マスタープランの中に全路線を位置付けている。基本的にはマスタープランに沿って整備を目指すスタンスでいるが、状況によって役割が大きく変化してくる路線もあるので整備の状況、展望を踏まえて次期マスター

プランの中で柔軟に対応したい。

問 岩宿駅周辺の道路を計画路線にする考えは。

都市建設部長 岩宿十字路の渋滞解消と交通の円滑化も課題となっている。北口は駅前の整備が遅れている。

全体的なこともあり企画課と相談して市は早い段階で計画を持たないと周りが進んで行かない状況もあるので内部協議をする。

副市長 整合性を持つために各部局が一定の方向に向かうことで考えている。用地取得も早目にすることもあり、重要なプロジェクトの拠点となるので、力を入れていく。



岩宿十字路付近

Q 年度別財政シミュレーションを示すべき

A その方向で検討したい

伊藤 正雄 議員



税減額の数値は算定が変動していくので、確定ではなく現在の想定だ。

問 毎年経常経費を5000万円減額、不用額を精査することにより、さらに取り組みとあるが、年度別財政シミュレーションを示すべきだ。

副市長 将来にわたる持続可能な財政計画にすべきとのことだが、財政調整基金を取り崩すことなく、計画的

に進めたい。財政シミュレーションについてはその方向で検討したい。

問 この減額が部局にどの程度認識されているか、消費費で1億6000万円、教育費で9700万円、厚生労働費で4億1000万円となる。担当部長の見解は。

保健福祉部長 具体的数値については示されていないが、大幅に減額になること

問 平成28年度から5年かけ、地方交付税が13億円減額の根拠は。

副市長 13億円の地方交付



高草木良江 議員

Q 発達障がい の 早期発見 に 5 歳児健診 の 実施 を A 来年度実施に向けて具体的に検討したい

問 発達障がいは、早期発見、早期療育の開始が重要である。3歳児健診から就学前健診までの期間が空いているが、この間は重要な意味を持っている。発達障がいの早期発見のために5歳児健診の実施ができないか。

保健福祉部長 発達障がいは3歳児以降、幼稚園や保育園などの集団生活を送る中で顕著になるため、5歳児健診の必要性が高まっている。みどり市は平成24年度に視察や研修、講演会などに参加して状況調査を行った結果、5歳児健診の

は承知している。

問 「スクラップアンドビルド」について、給食センター新築、笠懸小学校分離新設に伴うランニングコストはどのくらいになるか。

教育部長 給食センターは、2700万円の増額となる。分離新設の小学校は、笠懸東小学校規模を想定して、試算すると、1700万円くらいと見込んでいる。

問 1700万円とは初めて聞いた。この程度の持ち出しなら我慢できる数字だ。建設費、用地費は合併特例債で市財政に負担が少なく

て済む。もっと具体的数字をあげて、説得力を持ってあるべきではないか。いずれにしても厳しい財政を迎える、計画をもつて取り組むべきだ。

市長 平成28年度からの対応は正念場を迎える。しっかりと出入りともに厳しく受け止めていく。



必要性を確認した。課題はあるが他部門と調整をはかりながら平成25年度実施に向け、具体的に検討していきたい。

問 マルチメディアデージー教科書は、発達障がいや文字を認識することが困難である児童生徒の学習支援の手段として注目されている。活用できないか。

教育部長 発達障がいなどの児童生徒の学習支援に有効と認識している。今後は情報提供をしていき、将来的には取り組みたい。デージー教科書のシステムの見識を教職員や我々も深めていきたい。

問 給食費を公会計化して一元管理システムを導入しては。

教育部長 私会計のために発生する課題もあり、すでに待ったなしの状況と認識している。システムの導入や公会計化を合わせて早急に進めていきたい。

問 小学校に自転車運転免許制度を導入して事故防止をはかっている自治体もあるが。



岩宿駅南口

教育部長 小学校の自転車運転免許制度は、増加する子どもたちの自転車事故の防止やマナーの向上から全国的に広がっている。今後は導入している先進地の状況を把握する必要がある。

問 「岩宿駅南口は駐輪場もなく、暗くて雰囲気良くない」と市民からの声があつたが整備計画は。

副市長 現地の確認を行い安全確保のために必要な措置をとる。また岩宿駅周辺は、国県の財政的な支援を受けられるよう計画の調整をはかり、駅全体の利便性や北口も含めてアクセス道や駐輪場などの整備計画の策定に入っていきたい。

※マルチメディアデージー教科書…通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声シンクロ（同期）させて読むことができる教科書。

Q 公共交通の考えは

A 利用者の側に立ったものを

常見 詔子 議員



考えては。

副市長 住民基本台帳カードの発行は今年度でもできる。予算がかかるものは来年度以降になる。

問 デマンドバスは、桐生のヤオコーには行くが桐生厚生総合病院には行かない。公共交通の考え方は。

問 デマンドバスの利用状況と検証を聞きたい。

副市長 平成21年度は2万9544人（1日平均81人）の利用があり、平成24年度は3万5491人（1日平均97人）、今の運行状況では最大限の利用状況だ。車内アンケートによると、週2から3回利用する人が45・3%で、予約を断ったことのある人は平成22年度は46%から平成24年度では74・2%と増えている。

問 運転免許証の自主返納者への助成として、身分証明書にもなる住民基本台帳カードの発行や交通手段を

産業観光部長 6次産業法

という法律が平成23年3月に施行された。積極的に広報などで知らせていきたい。

問 TPP交渉参加による影響について聞きたい。

産業観光部長 平成25年3月の試算で群馬県全体の影

Q 平成27年冬の国体が群馬県で開催されるが備えは

A 県大会の開催市にも加わっていく

須永 信雄 議員



問 日本体育協会は平成27年国体冬季大会、スキー・スケート・アイスホッケーの開催地を群馬県に決定し

響額は635億円になる。

問 JAにつたみどりの橋場正和代表理事組合長は、環太平洋連携協定（TPP）への対応の鈍さから県興農政治連盟（JAグループ群馬の政治団体）からの脱退を決断し、5月の総代会で表明した。TPP参加への市長の考えは。

市長 個別の団体についてコメントする立場



にないが、食糧自給率について、当然心配し、懸念もある。国策とすれば食糧自給率を上げるべき。そのため何をするかを、国全体で考える必要がある。

た。県は5月21日に第70回冬季国体強化本部設立を発表した。群馬県の大会は、県内に12市の中でスキー・スケート・アイスホッケーについて、県大会の主宰市を持ち回りにしている。みどり市ではできないか。

教育部長 群馬県内12市において、群馬県民体育大会冬季大会と兼ねて持ち回りで開催しているが、みどり市が持ち回りできない状態

であることは非常にさみしい状態であると感じている。

問 群馬県での夏の競技についてはどのようなになっているか。

教育部長 夏季大会としては各市持ち回りで、水泳がある。その他、秋季大会が21種目有る中、みどり市は平成24年度の実績で12種目の参加であった。市内体育協会に加盟されていない競技については、実態把握が



藤生 英喜 議員

Q 県道桐生伊勢崎線道路改良は A 今年度実施調査へ

問 県道桐生伊勢崎線阿左美バイパスについては、阿左美駅までの第2工区は平成28年度完了をめどに進められているが、現状は同駅から西の交通渋滞が深刻であり、通り抜け車両が生活道路へ侵入し、地域の安全を脅かしている。そのため、

都市建設部長 新たな県土整備プランでは、駅から下笠懸町1、2、3区の区長連名で県道桐生伊勢崎線道路改良早期実施を求める陳情書が提出された。この道路は長く棚上げ状態にあったが、今年度に入り新しい動きが出ているか。

都市建設部長 流末の処理については見通しが立つようになっているが、これに排水路をどうつなげるのかこれがからの課題。平成21年に完成したC2県営調節池は主に阿左美地区県道太田大間々線西側を流域と考えており、既に桐生大



県営排水路

できない現状だ。

問 実態として、他市の協会を経由して選手や役員が参加しているということもある。多少なりとも財政的な支援ができないか。

教育部長 平成25年度からは都市対抗大会については、これに対する負担金を計上した。

問 業務継続計画とは大規模な災害・パンデミックが発生した場合に、備えるものだが市長の所見は。

市長 みどり市が対応できるものになるが、災害時でも継続しなければならない

※パンデミック：強毒性の感染症が大規模に流行すること。

業務もある。みどり市で自己完結ができる範囲内、ということになるが日々研鑽けんさんをしている。

須永 地震に限れば、関東平野北西縁断層帯主部、太田断層、片品川左岸断層などの被害想定では、震度で6弱から6強まで想定されている。業務継続計画を策定し、柔軟な対策を取ってほしい。



原交差点までを第3工区、更に藪塚駅までを第4工区として、向こう10年の間に着手される見通しとなった。平成25年度は、そのための調査に入るようになっていく。

問 雨水対策について伺いたい。都市化の進行、集中豪雨の増大により、笠懸地域の雨水対策は長年の悲願であったが、住民の願い関係機関の努力が通じ、国営県営による排水路、調節池などの事業が進み、抜本的な対策が図られつつある。いよいよ市で行うべき排水路網の面工事をどう進めるかに課題は移ってきているか。

都市建設部長 流末の処理については見通しが立つようになっているが、これに排水路をどうつなげるのかこれがからの課題。平成21年に完成したC2県営調節池は主に阿左美地区県道太田大間々線西側を流域と考えており、既に桐生大

間々線東側を流域として想定しており、用地買収も順調に進み、早ければ年度内にも岡登用水の切り回し工事に入る見通しである。これにつなぐ排水路の整備については設計のための調査を進めたい。

問 排水路網整備の設計を行う場合、どの程度の雨量、豪雨を想定し対応するのかによって、施設の規模、予算も違ってくるが。

副市長 費用の点もあり高いレベルの対応とまでいかないが、5年に1度、毎時50mmの雨量を基準に対応できるようにしていきたい。



東 町
松島 茂

観光で潤う

みどり市に

みどり市観光ガイドの会で仲間と共に活動しています。会は発足して4年目を迎え、延べ7000名あまりのお客様をご案内することができました。

市民の皆さんに市内をガイドすることで、みどり市の魅力の再発見につながり、市民が自分の町に愛着を持ち自分の町を好きになってもらえたら、それは訪れるお客様にとっても最高の観光地となります。

人と自然と文化が交差する街、それがみどり市です。まさに、やさしさに出会える街なのです。

みどり市を訪れたお客様が、そんな思いを抱いてくれるガイドができるよう、日々仲間たちと頑張っています。



大間々町
塩谷 洋一

時代変化の職人と

技術の継承

私は、40数年大工を続けてきました。

時の流れと、機械類の進歩の速さには、目覚ましいものがあります。

構造材は、プレカットで加工。(数年前は墨付けし手刻み加工)大工技術の必要性がなくなりつつあります。以前は、親方から技能・道具の指導を受け、我慢、辛抱、人情など身につけたと思います。現在、大工技術に限らず色々継承していき

たい文化的なことが失われていくのを寂しく思います。社会を先導している諸先輩の方々も何か感じることはありませんか。3月31日でもみどり職業訓練校も閉校となりました。これも時代の流れでしょうか。できるものは継承したいものです。



笠懸町
根岸 佳世

子育てに

安全な公園を

私は、笠懸生まれの笠懸育ち、3人の子育てをしながら、実家の生花店で働いています。

地元ということもあり、公民館やママさんたちのネットワークで協力し合い、子育てはとても充実しています。

残念なことにみどり市には、太田市のぐんまこどもの国、前橋市の大室公園のように大きく、駐車場が広く安全で、子どもがのびのびと楽しめる公園がありません。危険だからと遊具が撤去され、ただの広場になっていきます。未就学児も遊べ、高齢者の方も利用でき、市民が集まれる公園。より子育てしやすい環境を願います。

編集後記

今年の夏は、平年より早い梅雨明けから、連日猛暑日が続きました。これも、地球規模の気候変動のひとつではないかと考えさせられました。局地的な豪雨などによる災害もここ数年増加しています。

により、協働による地域づくりがより進むと期待されます。市民の負託にこたえ、安全安心なみどり市づくりのため、議員ひとりひとりが皆さんの声を大切にして取り組んでまいりたいと考えます。

(武井 俊一)



編集委員

委員長 武井 俊一
副委員長 齊藤 潤
委員 常見 詔子
委員 椎名 祐司
委員 宮崎 武
委員 大澤 映男
委員 須藤 健久
委員 須永 信雄

今年の夏は、平年より早い梅雨明けから、連日猛暑日が続きました。これも、地球規模の気候変動のひとつではないかと考えさせられました。局地的な豪雨などによる災害もここ数年増加しています。

により、協働による地域づくりがより進むと期待されます。市民の負託にこたえ、安全安心なみどり市づくりのため、議員ひとりひとりが皆さんの声を大切にして取り組んでまいりたいと考えます。